

2020（令和2）年度  
事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

## はじめに

本年度は、2020年5月に開催を予定していた「第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」が、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により延期を余儀なくされました。さらに長引くコロナ禍により、1年後の2021年5月の延期開催も中止の判断をいたしました。

またコンクール&フェスタの優勝団体による秋の「グランプリ・コンサート2020」は、全国ツアーが成立せず、過去の優勝団体のメンバーによる代替公演を三重、大阪で開催しました。

さらに、室内楽の演奏活動及び教育普及活動に対する助成事業や広報誌の発行、調査研究事業についても新型コロナウイルス禍の影響下での活動となりました。

## 公益事業 1

### (1) 国際的な室内楽コンクールの開催に関する事業（17,703千円）

令和2年度は、前年度より延期された第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタの準備と、中止の判断について、以下のような事業を行いました。

また2021年度に開催を予定している、これまでのコンクール&フェスタ参加団体によるコンサートシリーズの準備も推進しました。

#### 1. 第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタの延期開催の準備と中止判断の経緯

新型コロナウイルスの世界的流行によって、2020年5月に海外からの参加団体と審査委員の来日が見通せなくなり、前年度3月に開催見送りを判断した第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタについて、延期時期、事業内容を検討し、最終的には中止の判断を行いました。

#### 2020年

4月 コンクール&フェスタ各会場の2021年5月の使用の可否を確認し、延期候補日を策定  
延期候補日をコンクール審査委員、フェスタ審査員長・副員長に連絡してブッキング  
→ チェロのアラスデア・テイト教授のスケジュールが空いていなかったため、フィンランドのセッポ・キマネン教授に審査委員を依頼  
延期候補日を参加予定団体に連絡し、参加の可否を確認  
→ 新型コロナの先行きの不安視もあるが、参加団体の予定は確保

6月 延期開催のための参加要項を作成し、参加予定団体に送信  
第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタの延期開催を正式発表

参加予定団体において、メンバーの変更、演奏曲目の変更が生じた団体は、再予備審査のための演奏動画を送ってもらう(11月締切、感染状況によって締切は随時延長)  
演奏動画は、コンクール審査員長、フェスタ審査員長が視聴し、参加の可否を判断

7月～ 国内外の感染状況、国際的な渡航制限、各種イベントの制限などの情報収集

9月 参加予定団体へ、近況と拠点都市の様子をヒアリング

#### 2021年

1月 国際的な渡航手続きについて、5月までに通常の状態に回復しない見込みのため、日本政府が運用していたビジネストラックや2020年に来日公演を行った演奏団体の例を参考に、入国者への行動制限などを想定したガイドラインを作成し、参加予定団体と審査委員へ送信

2月 5月における海外からの音楽家招聘の可否を、外務省や文化庁に問い合わせる

3月 5月における海外からの参加団体と審査委員の招聘の見通しが立たず、第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ中止の判断を行う。(関係各所へ確認の上、3月30日に正式発表)

## 2. 公演事業

過去の大阪国際室内楽コンクール&フェスタ参加団体への継続支援と、関西での室内楽演奏会振興を目的として、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールと共催で、以下の2公演について出演者ブックイング、チラシ制作、プロモーション計画の検討を進めました。

- ① マルメン弦楽四重奏団<第9回コンクール参加> (2021年4月に中止決定)  
2021年6月28日(月)
- ② クアルテット・エクセルシオ<第2回コンクール第2位>with 後藤彩子<第7回コンクール第2位>  
2022年2月12日(土)  
【主催】公益財団法人 日本室内楽振興財団、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
【後援】読売テレビ、読売新聞社

### (2) 室内楽の演奏会の開催 (6,213千円)

## 3. 「グランプリ・コンサート 2020」代替公演の開催

令和2年度は、日本各地での室内楽の振興と大阪国際室内楽コンクール&フェスタの優勝団体への演奏機会の提供を目的に毎年秋に開催している「グランプリ・コンサート」は、コンクール&フェスタの延期に伴い中止となりました。しかし、国内の演奏会が軒並み中止となる状況下、室内楽の振興を目的に代替コンサートを、2020年の「グランプリ・コンサート」の開催を予定していた12会場のうち、三重と大阪の2会場で感染対策を行い開催しました。演奏者は過去の大阪国際室内楽コンクール第1部門優勝のクアルテットの元メンバーで、ニューヨーク在住のヴァイオリニストに2週間の隔離措置を経て演奏会に臨んで頂きました。

公演名：大阪国際室内楽コンクール優勝メンバーによる特別公演「音楽で楽しむ世界旅行」

出演：徳永慶子(ヴァイオリン/第7回コンクール1位 アタッカ・クアルテット)、小田裕之(ピアノ)

日程：11月7日(土)三重公演/三重県文化会館小ホール(席数50% 入場142名)

11月9日(月)大阪公演/住友生命いずみホール(席数50% 入場255名)

助成：公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション



**公益事業 2**

**(3) 室内楽に関する各種活動への助成 (2,749千円)**

令和2年度は、9件の事業に助成金を交付する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大などで事業4件が中止となりましたので、以下の事業5件に助成金を交付いたしました。(令和3年度へ延期した事業2件を含む)

**【選考委員】**

- 委員長 藤田 由之 指揮・評論
- 委員 青澤 隆明 評論
- 小野寺昭爾 大阪フィルハーモニー協会
- 沼野 雄司 桐朋学園大学・大学院 教授
- 横原 千史 評論

(委員名 50 音順)

**2020年(令和2年)度 助成金交付事業**

(単位：円)

事業名	申請者	開催地	開催月	金額
クローズアップおかざき 「アンサンブル天下統一 2020」	SPS・ト・エネック・ピ・ア・ン・ト・ビ・共同事業体 サントリーパブリシティサービス株式会社	岡崎市シビックセンター コンサートホール「コロネット」	2020.11	300,000
ベートーヴェンの知られざる世界	京都コンサートホール 長尾 真	京都コンサートホール アンサンブルホール ムラタ	2020.10 2020.11	300,000
spac-e コンサートシリーズ 2020	spac-e 佐原 洸	中目黒 GT プラザホール(予定) 他	2020.12 2021.3	200,000
SQS BEETHOVEN 2020	横浜学友会 平井 満	サルビアホール	2021 年 開催予定	500,000
直方谷尾美術館 第 39・40・41・42 回 室内楽定期演奏会委	かんまーむじーく のおがた 渡辺 伸治	直方谷尾美術館	2021 年 開催予定	300,000
合 計				1,600,000

## 公益事業 3

### (4) 広報誌の発行に関する事業 (4,003千円)

令和2年度は、以下の通り広報誌「奏」を刊行しました。

「第10回大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」中止に伴い、内容変更の上発行予定を各号2ヵ月遅らせ、印刷部数を減らしました。

○「奏」53号 7月10日発行 2,500部

○「奏」54号 12月4日発行 1,500部

※各号とも音楽関係団体、学校、会館、財団関連企業等に配布しました。

### (5) 調査研究に関する事業 (2,141千円)

令和2年度は、コロナ禍により、予定していた調査研究の実施が困難となったため、実施の繰り越しや調査テーマの切り替えを行いました。年度中1回の調査研究委員会(10月4日)を開催しました。

#### 1. アジア地域での室内楽及び民族音楽に関する調査研究

アジアでの室内楽(西洋音楽)の実例調査のあり方の研究に関しては、コロナ禍により調査対象予定の各国の交流事業が中止となった為、国内を中心としたアジアの民族音楽の調査を行うこととしました。12月5日・6日には北海道・民族共生象徴空間「ウポポイ」でのアイヌ音楽の調査を実施しました。

#### 2. 「室内楽との触れ合いの場」創出に関する研究事業

子供たちを対象とした、室内楽イベントであるため、本年度は実施を見送り、次年度以降の実施を目指すこととしました。

#### 3. 「コロナ禍におけるコンクールの実施状況」に関する調査事業

2020年からの新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴って、新たに国内及び海外のコンクールの対応状況の調査を開始しヒアリング等を実施しました。

#### 【調査研究委員】

委員長 藤野 一夫 芸術文化観光専門職大学副学長・神戸大学名誉教授

委員 伊東 信宏 大阪大学・大学院教授

後藤 彩子 ヴィオリスト、元シューマン・クアルテット

(委員名50音順)